

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			利用者の安全面に配慮したうえで、スペースの使い方、職員配置を工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		今後、利用者の状況に応じて考えていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			療育の準備のタイミングで話し合いをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			前年度の評価を参考に改善に努めている。また、保護者向けアンケートを実施し、業務改善に向けての話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			自己評価結果をホームページで公開している。今後は事業所の会報にも公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			外部の評価はできていないので、来年度は評価を取り入れていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1	外聞の研修にも積極的に参加し、可能であれば、外部の講師を呼んで研修していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			直接支援を行うスタッフも保護者との面談に同席し、総合的に計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			幼児期からの持ち上がりの子どもが多いので、幼児期のアセスメントを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		日・週・月単位の活動予定について調整会議を行っている。参加する児童の学年や能力に沿って計画を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			季節感を感じられるような療育を立案し新鮮さを取り入れよう心がけている。創作、運動、ゲームでのルール理解学習(実践)、屋外での運動活動など多様な活動を行っている。より多彩なサービス内容を考えていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			長期休暇にしかできないことをサービス内容に加えるなど工夫しているが、より細かやかな課題設定を心がける。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個々の興味、得意なことに注目し、それぞれの状況に応じて計画を策定している。児童の得意なところを伸ばしていくように個別支援を行うと共に、社会性を育てるために集団活動を実践していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			クラス内では毎日打ち合わせを行い、全体ミーティングで情報の共有を行っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		クラス内のスタッフ間は振り返りを行っている。記録を通して情報の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			写真を添えながら記録を取るなどしている。お子様の行動を客観的に評価できるように記録している。来年度では、利用者が使いやすいサービスを実施していく。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			最低でも半年に1回モニタリングを行い、保護者様に報告を行っている。その際に次期計画のニーズの確認を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7			基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動を行っている。また、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の活動を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		児童発達管理責任者、担当指導者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			送迎時に情報共有を学校と行っている。学校のお便りを活用し、送迎時間の確認を行っている。トラブル発生の際、必要に応じて学校と連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			薬物療法を行っている児について、医療との連携を行っている。また服薬状況の変更がないか、保護者の方にこまめにアセスメントを行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			就学前に利用していた児童発達支援事業所との間で情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			児童福祉サービスに移行する事例は、これまで締結していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			職員配置を工夫して、参加できる研修には積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			地域の情報を積極的に取り込み、参加できそうな機会があれば、参加していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			定期的に地域自立支援協議会のこども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時や面談の際に、情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		2	個別でのアドバイスは行っているが、集団でのトレーニングは開催できていない。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			重要事項説明書、契約書等に記載し、サービス利用契約の際に確実に行っている。

への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			日頃から家族の様子を保護者様から伺うように務めている。また、こちらの様子をお伝えするようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			保護者会の開催ができていないので、今後は予定を決めて、開催できるように努めていく。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			これまでに苦情をお受けすることはなかった。今後も苦情受け付けの体制をつくり、迅速な対応ができるように務める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		1	会報等は掲示しているが、SNSなどを使って、情報発信をしていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報の取り扱いについては、全員で注意を払っている。今後も徹底していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			視覚支援でわかりやすくお伝えするように努力している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			保護者の意向を確認しながら考えていきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルの掲示なども行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に避難訓練を行っている。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止の研修に参加して、虐待に関しての知識を理解している。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			事前に保護者に了解を得た上で行っている。身体拘束を行った際には、保護者に対して説明を行うと共に記録に残すようにしている。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			保護者からの情報で個人に合わせて対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		1	ヒヤリハットが起こった際には、報告書を作成し、改善策を検討し、職員に回覧し保管している。また、ミーティングにて情報共有を	